

韓国の脱核エネルギー教授の会は No Nukes Asia Actions(NNAA)の創立を心よりお祝い申し上げます。

2011年3月11日、全世界を衝撃に陥れた日本の福島原発事故は、原子力発電は停止しなければならない時に停止することができない統制不可能な危険であるということを如実に見せてくれました。チェルノブイリ以後、米国とヨーロッパは新規原発建設を中断したり自制した反面、日本は原発産業を拡大して福島原発事故を起こしました。「日本は技術水準が高く、チェルノブイリと同じ大事故は決して起きない」と主張しましたが、福島原発事故はチェルノブイリを凌駕する災難を私たち人類にもたらしました。原子力発電をクリーンエネルギーと呼び、一步遅れて原発産業に飛び込んだ韓国政府も愚かなことは同様です。

福島原発事故以後、世界の様々な国は「安全」を最も重要な価値と受け入れ、脱原発としてエネルギー政策の方向修正をしています。原子力発電には、これからは技術的側面ではなく、未来世代と他の生命たちを配慮した「倫理」の観点から接近しなければならないという省察が力を増しています。人類はこれ以上、原子力と化石燃料中心のエネルギーシステムに寄り添って物質的豊かさを指向するのではなく、エネルギー節約とエネルギー効率向上、再生可能エネルギーの拡大を通じて、既存のエネルギー多消費の生き方を変化させなければなりません。

韓国の脱核エネルギー教授の会は、原子力発電が人間尊厳性を傷つけ、未来世代の権利を侵害するという共通の認識に基づき、NNAAが脱原発とエネルギー節約、再生可能エネルギーへの転換のために、私たちとともに行動することを要請します。また私たちは、NNAAが脱原発と持続可能な社会の実現のために、政界、経済界、言論界、学界の原発利権勢力を解体するための学問的・政治的实践に参加することを要請します。韓国の脱核エネルギー教授の会はこれからNNAAと連帯し、さらには世界各国の知識人らと連帯し、全世界的次元の脱原発実現のための活動に積極的に打って出ることを約束します。

2012年11月10日

韓国の脱核エネルギー教授の会